

もくじ

■ ごあんない

- 2 季節のたより 159 「クワガタソウ」 / もくじ

■ まちよりのたより

- 6 地域おこし協力隊が着任 / 生き生き活動センターだより
- 8 児童手当現況届を提出してください / 軽自動車税納税証明書を発送 / 後期高齢者医療保険料均等割 9 割軽減の方へ / 人権擁護委員就任のお知らせ / ときがわ緑の少年団指導員募集 / 埼玉県市町村職員採用合同説明会開催 / 犯罪被害者支援の総合対応電話を新設
- 10 和の祭典を開催 / 多子世帯の住宅取得に補助金を交付 / 住所を登録していますか / 消防職員を募集
- 12 地震による家具の転倒を防止しましょう / 水源わくわくセミナー 2019 / 甲種防火管理新規講習 / 第 14 回登ろう歩こう大会 / 不正大麻・けし撲滅運動
- 14 個別健康診査のご案内 / 募集！歩いて健康づくり / 合併処理浄化槽の設置を推進しています
- 16 訓練放送（緊急地震速報）を実施 / 町民ゴルフ大会 / 男女共同参画週間 / お昼のメロディーは「おいでよ！ときがわ」です

■ グラフときがわ

- 18 桜めぐりと野草摘み天ぷら / 大野神社送神祭 / 花桃まつり / 馬場「子の権現様」 / 慈光寺本尊御開帳
- 20 大宮できつねつり / 自転車マナーアップキャンペーン / 行政相談委員感謝状授与式&委嘱式 / 「令和」を掲げて撮影しよう

■ スポーツときがわ No.52

- 22 ワンダーウォーク / ファミリーバドミントン教室 / データファイル / 綱引き大会参加者募集

■ Information 暮らしの情報

- 24 こそだて / ほけん / そうだん
- 26 そうだん / ぼうはん / かんきょう / としょかん
- 28 じょうほう
- 30 1 人 1 日 50g のごみの減量を！ -vol.14- / 町民芸芸 短歌 / 6月の広報カレンダー

■ 特集

4 Artokigawa

【表紙】4月14日(日)の慈光寺本尊御開帳。年間でも限られた日にもみ拝観できます。

【裏表紙】4月14日(日)、大野神社で行われた送神祭。今年は桜が長続きしたことで、旗を持った一行は桜も楽しむことができました。

人口と世帯 (5月1日現在)
総人口 11,191人 (-8人) ※0は前月比
4月の動き 出生 4人 死亡 8人
転入等 31人 転出等 35人
男5,661人(±0人) 女5,530人(-8人)
世帯数 4,734世帯 (-2世帯)
過去のデータはHPで見ることができます。

広報ときがわ【第161号】 令和元年5月24日発行
編集・発行 ときがわ町総務課
〒355-0395 埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川2490番地
TEL 0493-65-1521(代表) FAX 0493-65-3631
ホームページアドレス <http://www.town.tokigawa.lg.jp>
メールアドレス info@town.tokigawa.lg.jp

ときがわ町の位置
東経 139 度
北緯 36 度
海拔 64m
面積 55.90 平方m
防災行政無線テレホンサービス(無料) ☎080-0800-8432

季節のたより 159 花の蕊の形が、 戦国時代の武将の兜の前立に似ていると クワガタソウ



【クワガタソウ】
裏表紙にカラー写真を掲載しています

ついこの間、迎えたばかりだと思っていた新しい年が、もう6月。年をとると月日の流れを早く感じるものだと子どもの頃、年寄りからよく聞かされたことですが、自身、そんな年になってみて、このことなんだと特に強く感じるように思います。こんな時季、いつものように、孫たちに促されて屋外の散歩に出かけてみると、梅雨入り間近ということもあって、殆どの植物が夏の開花を前にして、根を大きく張り広げたり、深呼吸に備えてとでもいうように大きい葉を更に大きく張り広げて、真夏の太陽に向かって開花の準備に余念のないところではないかと思えます。「今の時季は、

おれたちに任せておいてくれよ」と言わんばかりに他を圧倒するような勢いで「アジサイ」の仲間が開花を始めていますが、大型の花の陰で、申し訳なさそうにそっと開花している小型の植物の仲間も多くみられます。今月はそうしたグループの中から「クワガタソウ」を選んで書いてみたいと思います。

「クワガタソウ」は「ごまのはぐさ」科の、日本在来の植物で、陰地に自生している多年生です。形状は、草丈12〜15cmで茎は根元から数本、直立または斜めに立ち上がり、1本の茎に数対、上部へ行くほど大きい葉（長さ2〜6cm余）をつけています。初夏、茎の上部の葉腋から花柄を出して、花冠径9mm余の淡紅色の筋のある白色の花を咲かせ、花後には実を結びます。
*花冠：花は、ガク片、花弁、雄蕊、雌蕊からできていますが、花によってはガク片と花弁の区別がつかないものがあり、その際には「一まとめにして「花冠」と呼んでいます。

名前は、実の形が「扇を開いたような形」をしていて、それに重なるように蕊がついていて、その形が戦国時代の武将の兜の「鉞形」に似ていることから「クワガタソウ」という名前をつけられたということです。私見を述べてみますと、そこまでして植物の名前が付けられているのかということを考えてみると、研究者の植物の研究に対する入れ込みのように頭が下がるような思いがいたします。

「クワガタソウ」の仲間には、「ごまのはぐさ」科の種、全てが入るわけですが、その主なものをあげてみると、「ヒキヨモギ」「シオガマ」「ママコナ」「ジギタリス」「オオイヌフグリ」「サキゴケ」など、また、樹木の「キリ」なども含まれています。生活との関わりは、この仲間には、園芸品種や、摘み草などとして利用できるものもあって、野草の散策などには楽しみの多い植物だと思えます。

今年、梅雨はどんな展開になるのか、今から気がもめるところです。お互い夏に備えて、健康には充分留意しながら、昨年のような猛暑に出会うことがあっても無事に乗り越えて、季節ごとの野草を愛しながら、美しい紅葉に巡り合いたいものです。



写真・文／小林一公さん（大字本郷）